



## 第〇学年 総合的な学習の時間活動案

1 単元名 わたしたちのレッドデータブックを作ろう

2 単元の目標

- ・身近な自然環境に目を向け、地域に生息する生物との共生について考えることができる。
- ・地域の環境について見直し、生物多様性保全や郷土を大切にしようとする意識をはぐくむ。

3 評価

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・身近な生物や自然環境について興味関心を持ち、進んで観察したり調べたり表現したりしようとする。	・生物と共生する自然環境に気づき、環境を保全していこうと考えようとする。	・身近な地域の生物の調査や観察を行い、調べたことをレッドデータブックなどに表現しようとする。	・生物多様性や環境保全について知り、自然環境に対する自分のこれからの生き方、考え方の理解を深めようとする。

4 単元の指導計画（5時間扱い）

時	活動内容	テキストとの関連
1	・身近な地域で見かけた生物について出し合い、わたしたちのレッドデータブックづくりの計画について話し合う。学校周辺の生物調べを行う。	テキスト22ページ (指導資料4ページ)
2	・見つけた生物をマップに表し、レッドデータブックに載せる生物を話し合い、レッドデータリストを選定する。	
3	・わたしたちのレッドデータブックに選定した生物の生態や環境について調べ、まとめる。	
4	・わたしたちのレッドデータブックを見直し、修正してまとめる。	
5	・自然環境保全について具体的にできそうなことを話し合い、生物多様性保全宣言カードに書く。	

## 5 本時の活動

### (1) 第1時

#### ア目標

○レッドデータブックについて知り、わたしたちのレッドデータブックづくりに取り組もうとすることができる。

○身近な地域の生物に関心を持ち、進んで観察したり調べたりすることができる。

#### イ展開

時配	主な学習活動	支援(○), 評価(☆), 留意点(●)
10	1 身近な地域で見かけた生物について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区や校地等の白地図を準備し、自分が見つけた生物を記入したり、シールを貼ったりすることにより身近な生物に関心を持たせる。(○)</li> <li>・話し合いを通して、地域に多種の生物がくらしていることに気づかせる。(●)</li> </ul>
5	2 本時の課題を理解する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     学習課題                      わたしたちのレッドデータブックを作ろう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッドデータブックとはどのようなものか知らせ、自分たちの地域のレッドデータブックを作ろうとする意欲を持たせる。(○)</li> <li>・地域で見つけられそうな生物を提示し、関心意欲を高める。(○)</li> <li>・レッドデータブックはどのようなものか理解できたか。また、作ろうとする意欲が持てたか。(☆)</li> </ul>
30	3 校内や周辺地域に生息している生物を見つけ観察する。 ◇学校や地域の環境に応じて、校内、川、海、公園、通学路など <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンプルをとる。</li> <li>・写真を撮る。</li> <li>・スケッチをする。</li> <li>・記録用紙に記入する。 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループを編成し、安全面に注意し、活動範囲や注意事項を確認してから出かける。(●)</li> <li>・グループごとに、何を見つきたいか、どのように観察するかなどテーマを決めてから観察に出かけるようにする。(○)</li> </ul>
5	4 観察した生物について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の生物に関心を持ち、進んで観察したり調べたりすることができたか。(☆)</li> </ul>

(2) 第2・3時

ア目標

○見つけた生物をマップに表し、わたしたちのレッドデータブックに載せる生物について話し合  
うことができる。

○わたしたちのレッドデータブックに選んだ生物の生態について調べることができる。

イ展開

時配	主な学習活動	支援(○), 評価(☆), 留意点(●)
20	1 身近な地域で見かけた生物を発表し、マップに表す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マップに表すことで、身近な地域の気がつかないところにも、多くの種類の生物がくらしていることを実感させる。(●)</li> <li>・日当たりや土、樹木の様子など、どのような場所で見つけたかについても発表するように助言する。(○)</li> </ul>
5	2 本時の課題を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">           学習課題 わたしたちのレッドデータブックに載せる生物を選ぼう。         </div>	
25	3 どのような観点で選んだらよいか話し合い、決定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県や環境省レッドデータブックを参考に選ぼう。</li> <li>・昔から地域にいる生物を選びたい。</li> <li>・家の人や地域の人意見も聞きたい。</li> <li>・○○について調べたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしたちのレッドデータブックなので、地域性や生徒の思いを大切にして生物を選定する。(●)</li> <li>・千葉県版や環境省のレッドデータブックを提示する。(○)</li> <li>・自分の意見や考えとともに根拠が述べられるように助言する。(○)</li> <li>・レッドデータブックに載せる生物への「環境による影響」を意識させたい。(●)</li> <li>・話し合いに積極的に参加しようとしているか。(☆)</li> </ul>
50	4 選定した生物についての生態や見つけた場所などについて調べ、レッドデータブックにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担し、図書室やインターネットで調べたり、博物館や地域の方、理科担当教諭などに取材したりするとよい。(○)</li> <li>・生物に関心を持ち、進んで調べたり、まとめたりしているか。(☆)</li> </ul>

(3) 第4・5時

ア目標

○見つけた生物の情報や知識を出し合い、わたしたちのレッドデータブックにまとめることができる。

○生物と身近な環境について考え、生物多様性保全への意欲を高めることができる。

イ展開

時配	主な学習活動	支援(○), 評価(☆), 留意点(●)
5	<p>1 本時の課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>学習課題 わたしたちのレッドデータブックについて情報交換し、より良いものにまとめよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしたちのレッドデータブックに載せる生物について、互いの情報を出し合い、共有することを通して、様々な生物の生息・生育環境について考えるきっかけとする。(●)</li> </ul>
30	<p>2 まとめたレッドデータブックを提示し、情報を共有し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○は、△公園でも見かけたことがあるので、コメントにつけ加えよう。</li> <li>・雌雄の見分け方を入れた方がよい。</li> <li>・目次に分類を入れた方がよい。</li> <li>・マップも載せると分かりやすい。</li> <li>・写真のはっきりしたものと交換しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で見つけた生物の情報や知識を出し合い、より良いわたしたちのレッドデータブックを作ろうと、話し合いに参加しようとしているか。(☆)</li> </ul>
15	<p>3 わたしたちのレッドデータブックを見直したり、修正したりしてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有した情報を取り入れ<sup>すいこう</sup>推敲するよう助言する。(○)</li> </ul>
30	<p>4 わたしたちのレッドデータブックと、地域の環境とのかかわりや生物多様性保全について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの生物と共生していくために。</li> <li>・食物連鎖がとぎれてしまったら。</li> <li>・人がどのようなくらしをしていけばよいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の生態や生息する環境をどのよう<sup>すいこう</sup>にしていきたいか、生物多様性保全への意識を高めるよう支援する。(○)</li> <li>・生物の生態と身近な環境とのかかわりについて考えることができたか。(☆)</li> </ul>
20	<p>5 地域や千葉県<sup>千葉県</sup>の自然環境保全のために、自分たちができそうなことを生物多様性保全宣言カードに書き発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組み状況がチェックできるカードを作ったり、ポスターを作ったりすることを通して、具体的な行動につながるようにする。(●)</li> <li>・わたしたちのレッドデータブックづくりを通して、身近な地域への愛着を高めるとともに、県全体の生物多様性保全への実践意欲が高まったか。(☆)</li> </ul>